

### Ⅲ. 授業

#### 1. ボランティア論

授業名	全学共通科目 コラボレーション科目 ボランティア論～転換期を迎えた社会で求められること～		
曜日 時限	春学期 火曜日 2限 : 10:45～12:25 2021. 4.13 (火) ～ 7.20 (火)		
方法	Zoom を利用したオンライン授業		
担当者	結城俊哉 (コーディネーター、ボランティア副センター長、コミュニティ福祉学部教授)、 豊永はるか (兼任講師)、ゲストスピーカー		
履修者数	110 名		
内容	<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>漠然としたボランティアのイメージを、いくつかの事例を通じて、具体的なイメージとして理解できるようにします。またボランティアを考えることを通して、自分と社会の接点を意識できるようにし、社会問題を自分の頭で考えられるようになり、実際の行動へとつなげられるようにします。そして、ボランティア経験を自分の言葉で発信し、自分のキャリア形成を考えることができるようになります。</p> <p>&lt;授業内容&gt;</p> <p>2020 年から世界を新型コロナ感染症問題によりコミュニティにおける対人関係の変化が余儀なくされている。今回、コロナ禍の中で多くの市民が「共に生きることができる社会」を目指す新しい価値や活動が求められています。授業では、ボランティア活動について、ボランティアを提供する側だけでなく、サポートを受ける側の気持ちも汲み取りながら、日常的な活動だけでなく、災害や海外での支援、企業の社会貢献活動等の様々な切り口から、現場で活躍されている方々のメッセージも交えて多面的に検討し、社会に潜む諸問題に対して自分自身の視点から能動的にとらえられる学生へと成長できるようにします。</p>		
	氏名	現職	専門分野 (テーマ等)
担当講師	コーディネーター 結城 俊哉	ボランティア副センター長、 立教大学コミュニティ福祉学部教授	ソーシャルワーク論、障害者福祉論、ノーマライゼーション論、ケア論
	兼任講師 豊永 はるか	日本財団 学生ボランティアセンター	ワークキャンプ、国際交流、災害ボランティア等
	磯田 浩二	NPO 法人グッド 代表	ワークキャンプ、国際交流、ユースワーク
	関根 正孝	一般社団法人ピースポート 災害支援センター	災害ボランティアにおいて学生にできること
	土屋 匠宇三	一般社団法人彩の国子ども・若者支援 ネットワーク代表理事	相対的貧困問題、学習支援教室と学生ボランティア
	森田 たいしん	フリージャーナリスト	ボランティア体験を言葉にする
	奥山 葉月	NPO 法人自立生活センター (CIL) 立川	しょうがいしゃの地域生活支援とコロナ渦におけるボランティア (当事者の視点から)
	大倉 智	株式会社ドーム取締役	地域と社会が連動した取り組み (ス

		執行役員 CSMO	ポーツを通じた街づくりから)
	上田 英司	認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 事務局次長	企業の社会貢献活動 (NPO と企業の 連携をサポートする視点から)
	寺内 崇	大島町立つばき小学校 副校長	立教大学在学中のボランティア活 動と、その後のキャリアについて
	藪本 雅子	フリーアナウンサー (元日本テレビアナウンサー)	ソーシャルな観点から仕事をする ーハンセン病報道
	福井 崇人	一般社団法人 2025PROJECT 代表理事	ソーシャルデザイン
授業内容 全 14 回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. (4.13) オリエンテーション</li> <li>2. (4.20) ボランティアの歴史と概要</li> <li>3. (4.27) ボランティアを取り巻く社会</li> <li>4. (5.11) 立教生が取り組んでいるボランティア</li> <li>5. (5.18) 一歩踏み出す。世界、広がるー「気持ちの良い人間関係」をもたらすワークキャンプ</li> <li>6. (5.25) 災害ボランティアについて～学生にできることは?～</li> <li>7. (6.1) 地域における学習支援について</li> <li>8. (6.8) ボランティア体験を言葉にする</li> <li>9. (6.15) ボランティア活動の発想を転換する力～COVID19 がもたらした社会の中で～</li> <li>10. (6.22) 地域と社会が連動した取り組み</li> <li>11. (6.29) 企業が取り組む社会貢献活動ーNPO と企業の連携</li> <li>12. (7.6) 支えることと支えられること</li> <li>13. (7.13) ソーシャルな立場から仕事をするーハンセン病報道への思い</li> <li>14. (7.20) ソーシャルデザインーアイデアが社会を変える (授業の総まとめと振り返り)</li> </ol>		
まとめ	<p>昨年に引き続き、オンラインでの開講となった。オンラインに伴い、新座キャンパスの学生も多く履修することができた。配当教室により、従来よりも履修者は少なかったが、定員 110 名のなか、出席率も毎回 90% 近く、リアクションペーパーの提出も非常に良かった。</p> <p>ゲストスピーカーとして様々なボランティアの現場で活躍されている方にお話いただき、現場の持つ課題や、活動の魅力などを伝え、ボランティアをすることを想像できるよう工夫を凝らした。Google フォームを利用したリアクションペーパーによる質問に対して、翌週までには必ず回答することで、教育的な効果も高めることができた。</p>		

森田 たいしん講師



藪本 雅子講師

